



さらに子どもたちの笑顔の溢れる学校に

校長 東海林 孝吉

花が咲き、花が香り、何もかもが新鮮に感じられる生命の躍動する新年度のスタート。そして、校庭の本校のシンボル樹である満開の桜を見るのは最後です。歴史と伝統のある杉五小の閉校のため、総締め括りの平成19年度を迎えました。

子どもたちは、新しい学年の出発を待ち焦がれ期待と希望に燃えて始業式を迎えたに違いありません。さぞ新しい先生や友達との出会いを心待ちにしていることでしょう。

教室ではどんな楽しく生き生きとした学習が展開され、校庭ではどんな友遊びや元気いっぱいの遊びが繰り広げられるのでしょうか。そして、地域に飛び出し、地域を教室にしたり、地域の方々を先生にしたりして、子どもたちがキラキラ輝く活動が展開されるのでしょう。

慈しみ育てた58名の卒業生を送り出し、新たに38名の1年生を迎えるました。さらに、合計11学級で総在籍数は273名となりました。そして、新しい教職員9名を迎え、心新たに、また、心一つにして本校児童の健やかな成長を願い、鋭意努力する決意です。

朝がくると まど・みちお

朝がくると とび起きて
ぼくがつくったのでもない
水道で 顔をあらうと
ぼくがつくったのでもない
洋服をきて
ぼくがつくったのでもない
ごはんを むしゃむしゃたべる
それからぼくがつくったのでもない
本やノートを
ぼくがつくったのでもない
ランドセルにつめて
背中にしょって
さて、ぼくがつくったのでもない
靴をはくと
たたかたたか でかけていく
ぼくがつくったのでもない
道路を
ぼくがつくったのでもない
学校へと

ああ なんのために
いまに おとなになったら
ぼくだって ぼくだって
なにかを つくることが
できるように なるために

さて、子どもたちは、家族や世の中から大変お世話になっていることになかなか気付きません。また、「何のため学校で学ぶのか」等余り考えることがあります。そこで、この詩のように、人

や世の中の役に立つ人間になるために「ぼくだって、ぼくだって」という意欲を育むことを大切にしたいと思います。

そのために、学校は、まず『勉強する所』だと認識することだと思います。一人一人に基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させ、豊かな学力と学習意欲を身につけさせていきます。また、学校は『集団生活をする所』です。社会で自立して生きていけるように社会性や社会的規範、そして社会に貢献できる力を身につけさせていきます。そのため、教育目標の達成のために本年度は次のようなことを重点に置き教育活動を推進していきます。

◆「よく考える子」(学習力の育成)

- (1)愛情と信頼で結ばれ、どの子にも所属感と満足のある温かな雰囲気の学級・学年づくりに努めます。
- (2)全学年で共通した学習基盤をしっかりと身に付けさせ、豊かな学力と学習意欲の向上を図るために、授業の充実や家庭学習習慣の定着を推進します。
- (3)高学年の教科担任制や理科の専科制、中学年での交換授業を進め授業の充実を図ります。
- (4)全教員が協力して補充教室やチャレンジタイム等を充実させ、個に応じた指導を進めます。

◆「心豊かな子」(社会力の育成)

- (1)学校統合に向け若杉小学校との交流や相互理解をより進め適応指導を充実させます。
- (2)朝読書や読書ボランティアの活動を通して読書教育をさらに充実させます。
- (3)生活指導内容の重点化を図り、挨拶や正しい言葉遣い等の励行で人と人との豊かな関わり合いを推進します。
- (4)人との関わりやボランティア活動を充実させ、思いやりの心を育み、人や社会に役に立つ喜びを体験させます。
- (5)英語活動時間の増加とイギリス・クルック小学校との交流を通して国際理解教育を進めます。

◆「たくましい子」(健康力の育成)

- (1)休み時間を30分にした遊びタイムを設定し、外遊びの好きな子どもを育てます。
- (2)体育の指導の充実や健康朝会を活用し、体力の向上を図ります。
- (3)食育の指導の工夫や基本的生活習慣の改善を図るために、学校保健委員会等を通して家庭と連携し心と体の健康づくりを進めます。

◆共育と協働のある学校

- (1)地域力を活かした様々な授業の創造を日常化し、校内研究で取り組み、公開します。
- (2)保護者や地域の力を借りて杉五応援団を組織し、地域の教育力を高めます。
- (3)家庭や地域にあいさつボランティアを募集し、児童の健全育成と地域の安全、安心町づくりに貢献します。

杉五小最後の1年間を、教職員一同全力で力を合わせて、保護者や地域の皆様の期待と信頼に応える学校づくりをしてまいります。今年度もご理解とご支援のほど宜しくお願ひ致します。